

1. 交通状況の変化

はじめに

コロナ禍における道路交通への影響について

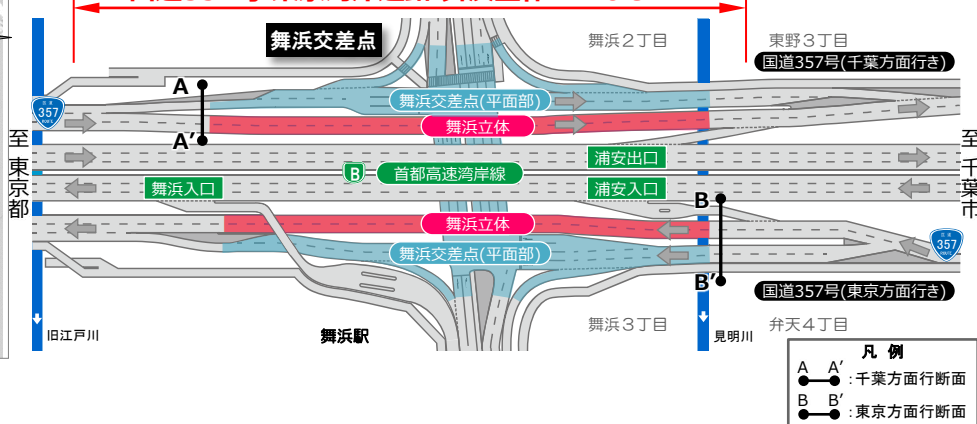
舞浜立体はコロナ禍での開通となりました。このため、開通後の交通状況分析では、緊急事態宣言をはじめとする行動制限を伴う外出自粛要請を踏まえ、著しく道路交通へ影響が見られた期間（R2.4.7～R3.9.30）を除外しています。

位置図



令和2年6月28日開通

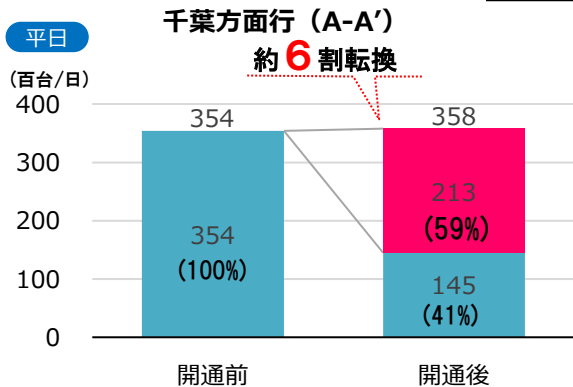
国道357号 東京湾岸道路 舞浜立体 L=0.9km



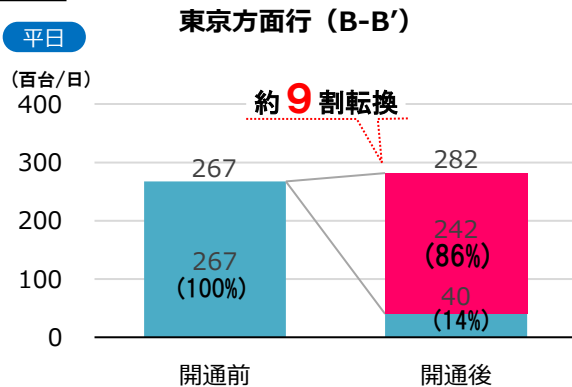
交通の転換

- ◆ 舞浜立体の整備により、舞浜交差点(平面部)を利用する通過交通が、**舞浜立体へ転換**。
- ◆ 千葉方面行で約6割、東京方面行で約9割が舞浜立体を利用。
- ◆ 舞浜交差点(平面部)の交通量が減少したことで、急ブレーキ回数が約8割減少し安全性が向上。

舞浜立体開通前後の交通量



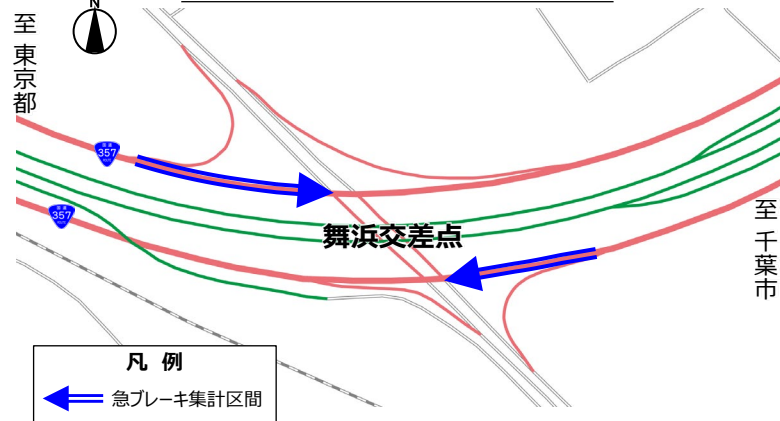
【凡例】 ■ : 平面部 ■ : 立体部



【出典】交通量調査日
開通前: R1. 6. 4 (火) 7:00～翌7:00、開通後: R4. 9. 29 (木) 7:00～翌7:00

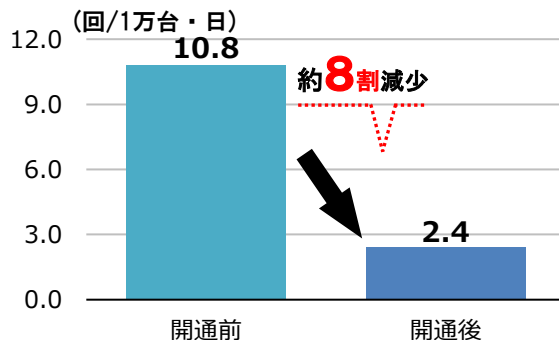
安全性の向上

舞浜交差点周辺の急ブレーキ発生状況



急ブレーキ回数の変化

交通混雑の緩和により、スムーズに通行できるようになったことから急ブレーキ回数が減少。

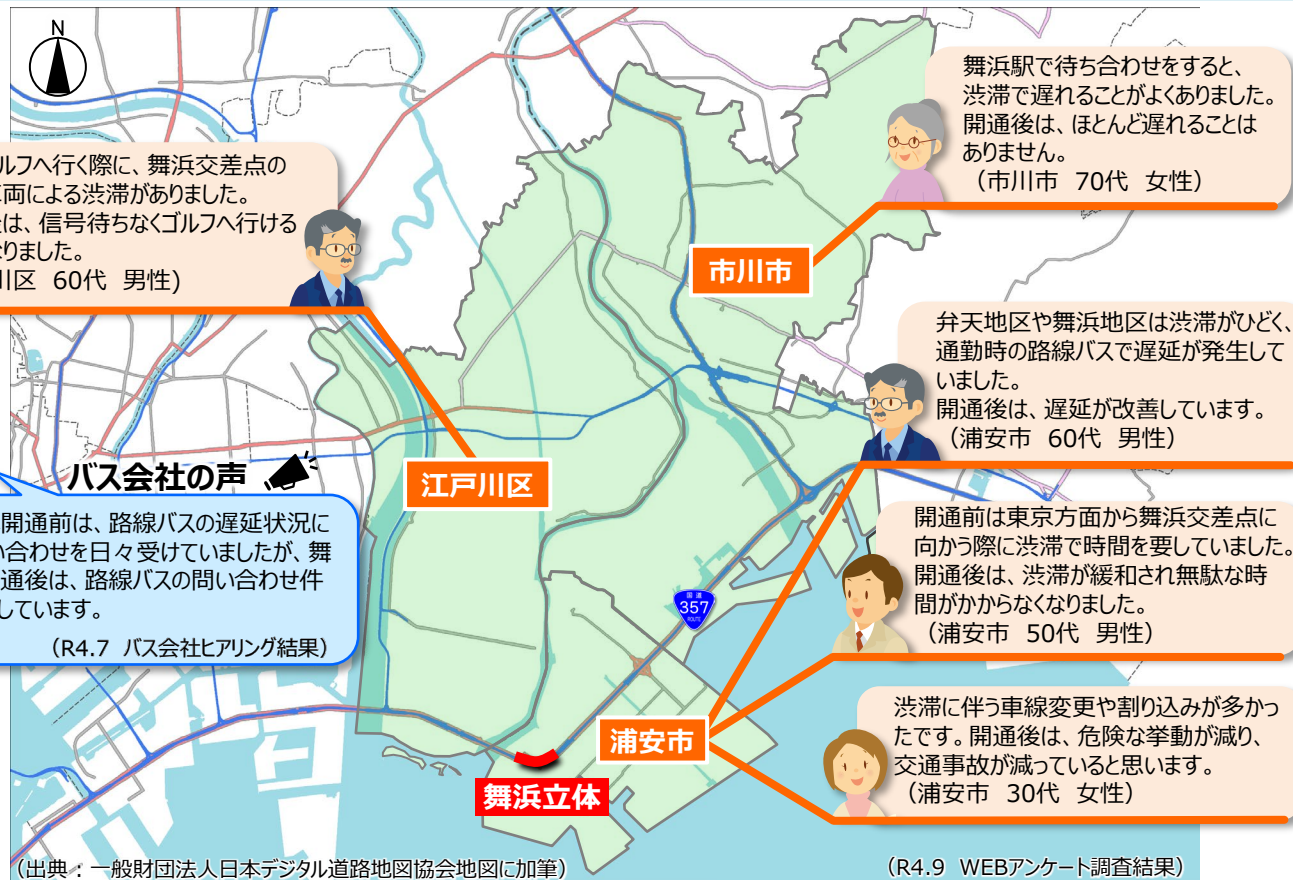


【出典】ETC2.0プローブ情報
開通前: R1.10～R1.11平日、開通後: R4.10～R4.11平日
※0.3Gを超える急減速を急ブレーキとして集計

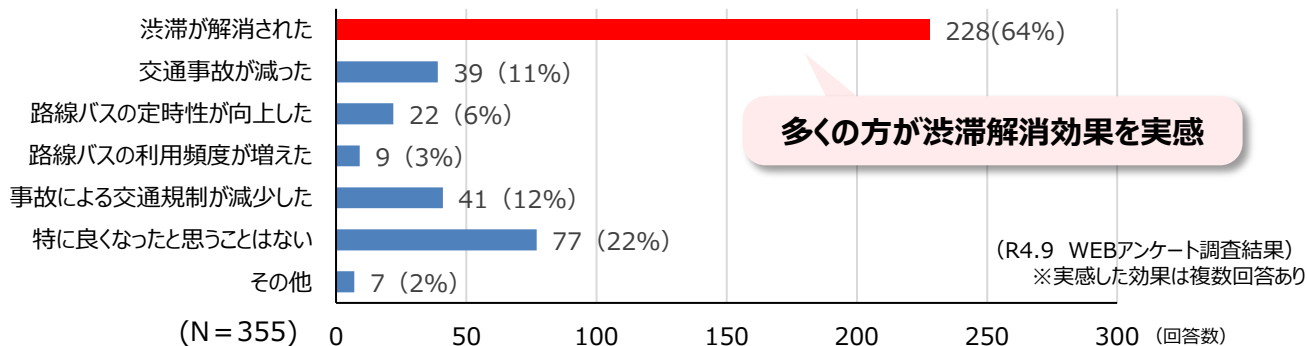
2. 周辺住民の声①

開通後の状況変化

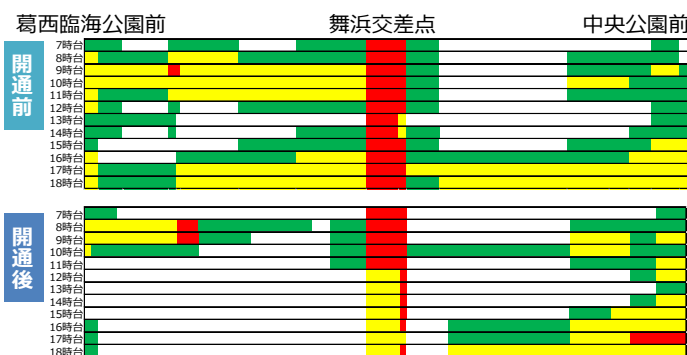
- ◆ 舞浜立体開通後、舞浜交差点の交通が分散したことで、混雑が緩和しスムーズな通行が可能に。
- ◆ 舞浜交差点を利用する方が、渋滞緩和や安全性向上など開通の効果を実感。



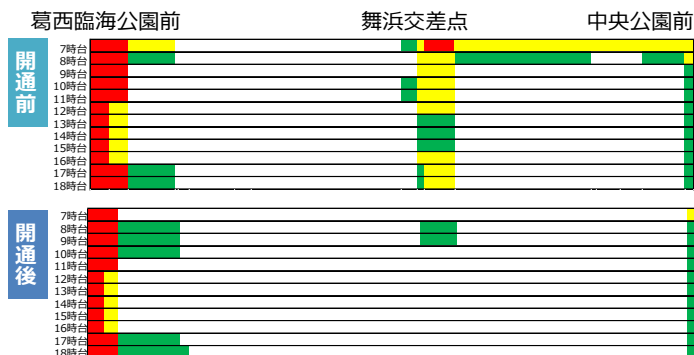
道路利用者が舞浜立体開通後に実感した効果



国道357号（千葉方面行）の旅行速度



国道357号（東京方面行）の旅行速度



凡例 ■ 20km/h未満 ■ 20km/h～30km/h未満 ■ 30km/h～40km/h未満 □ 40km/h以上

【出典】ETC2.0プローブ情報 開通前：R1.10～R1.11平日、開通後：R4.10～R4.11平日

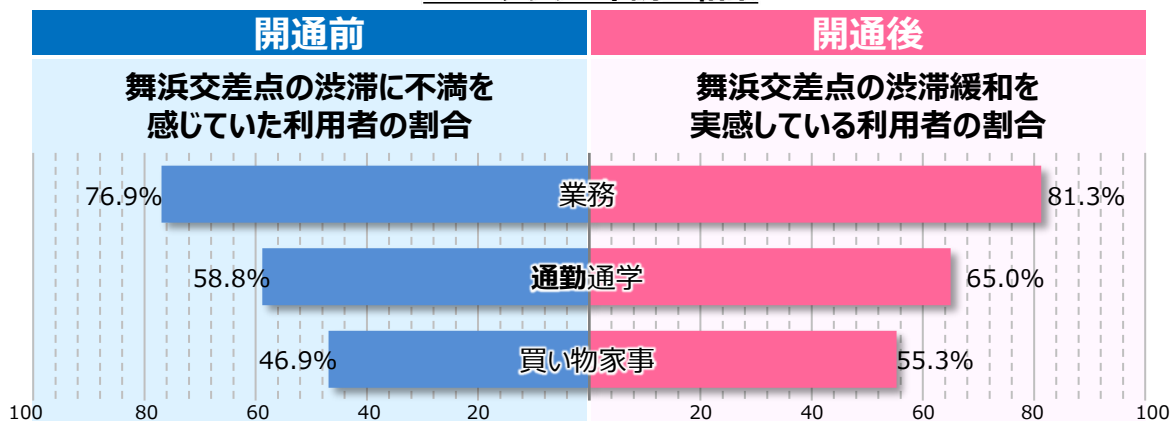
2. 周辺住民の声②

通勤利用者の声

- ◆ 浦安市、市川市では、通勤者のうち約 5 割が東京都への通勤。中でも、国道357号沿線区への通勤者は約6千人が自動車通勤。
- ◆ 舞浜立体開通前は舞浜交差点の渋滞に対する不満が多かったが、開通後は通勤時間が読めるようになったなど、通勤利用者也渋滞緩和を実感。



WEBアンケート調査結果



沿線住民の声

開通前は、とにかく通勤時間帯は渋滞していて、かなり早く家を出発しなければならなかったです。

(R4.9 WEBアンケート調査結果
市川市在住 40代男性)



沿線企業社員の声

千葉方面から江戸川区へ通勤していますが、舞浜立体開通により通勤時間帯は渋滞がなくなり通過できていると実感しています。

(R4.7 企業ヒアリング結果)



沿線住民の声

開通前の国道357号は慢性的に渋滞していましたが、渋滞が緩和したことで、通勤時間が読めるようになりました。

(R4.9 WEBアンケート調査結果
市川市在住 50代男性)

3. 定時性の向上

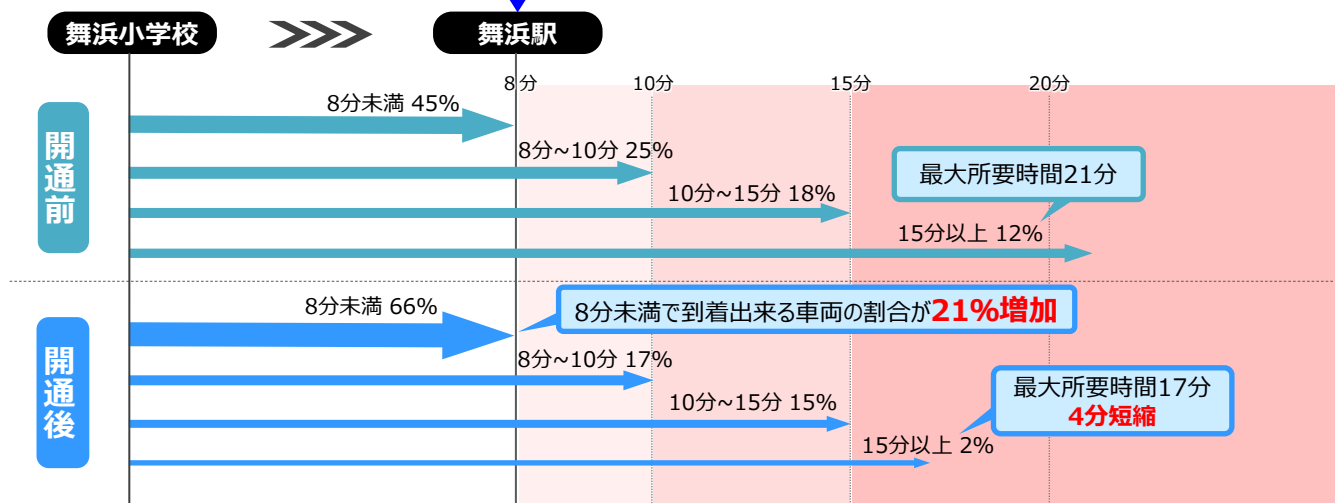
路線バスの定時性向上

- ◆ 舞浜立体の整備により、舞浜交差点の渋滞が緩和したことで、舞浜交差点周辺で運行している路線バスの定時性が向上。
- ◆ 渋滞によるダイヤの遅延が減少したことで、バス運転手の次発までの休憩時間が十分に。



舞浜小学校 → 舞浜駅の時間信頼性の変化

B社（コミュニティバス）の定刻所要時間 8分



※特異値を除き10～90%タイル値で算出

【出典】ETC2.0プローブ情報

開通前：R1.10～R1.11平日、開通後：R4.10～R4.11平日

バス会社の声

A社 ▶ 舞浜立体が開通したことで、国道357号の舞浜大橋で大幅に渋滞が緩和しており、バスの定時性が向上しました。

B社 ▶ バスの運行時間が短縮したことで、バス運転手が次の運行まで休憩する時間が増えました。

(R4.7月 バス会社ヒアリング結果)

▼次発まで待機中の路線バス



R4.9撮影

4. 物流の効率化 – 給食食材の配送効率化 –

給食食材の配送効率化

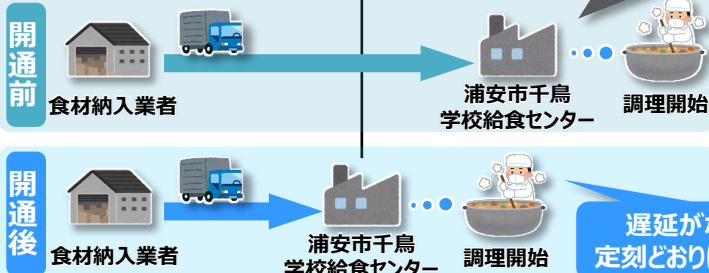
- ◆ 浦安市内の小中学校へ給食を調理・配送する学校給食センターには市外の業者も食材を納入。
- ◆ 舞浜立体開通後、舞浜交差点の混雑が緩和したことで、時間信頼性が向上し食材納入時の遅延が減少し、調理開始時間の遅れも解消。

配送ルートの一例 (千葉市内の業者の場合)

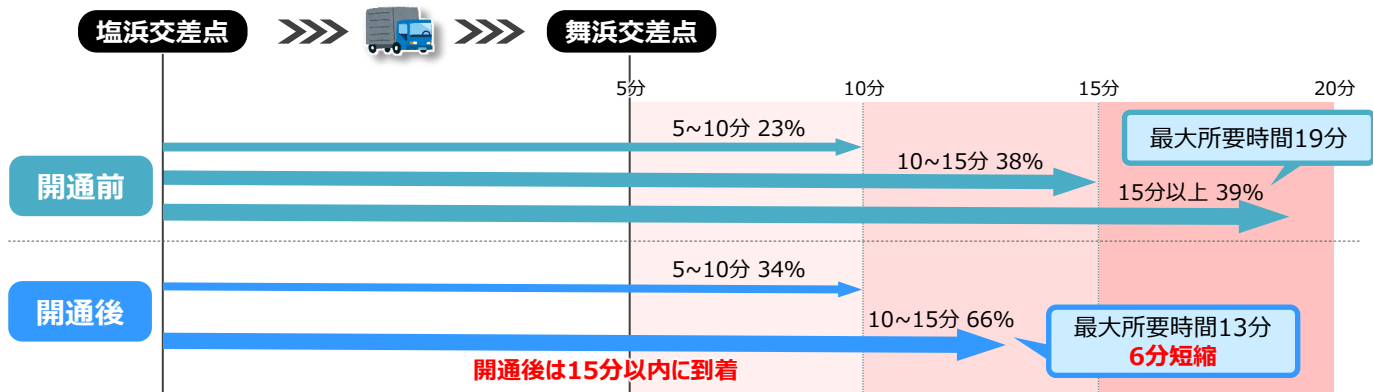


調理開始時間 8:00

食材納入業者の中には、舞浜交差点付近の混雑により遅延する業者も



国道357号塩浜交差点 → 舞浜交差点 時間信頼性の変化



【出典】ETC2.0プローブ情報 開通前：R1.10～R1.11平日（7時台）、開通後：R4.10～R4.11平日（7時台）

※特異値を除き10～90%タイル値で算出。

給食センターの声

舞浜立体開通前には給食材料の調達で、配送会社から学校給食センターへの到着が遅延する連絡が多くありましたが、舞浜立体開通後は連絡がほとんどなくなりました。

(R4.7 学校給食センターヒアリング結果)